

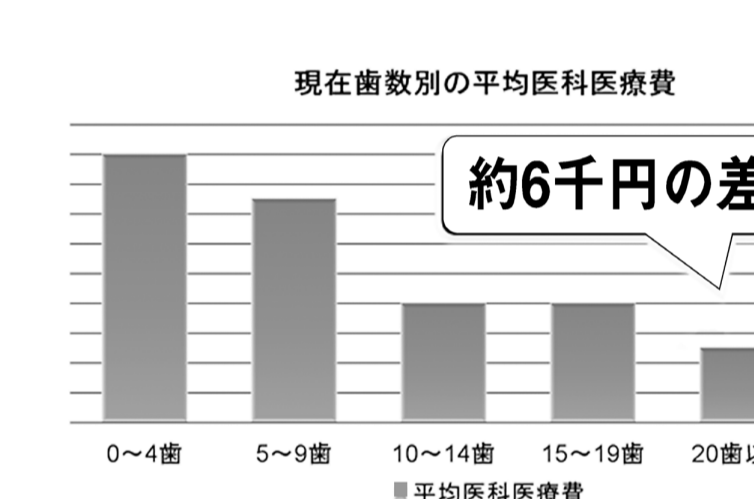
診療報酬改定と生活習慣病管理料について

2024年6月より新しい診療報酬(※1)に変わります。診療報酬改定では、急性期一般病棟1の要件がさらに厳しくなり、地域包括医療病棟の新設もあり、急性期病院のふるい落しなどがさらに進んでいます。また入院患者様の身体拘束の最小化も義務化されました。他には、マイナンバーカードの利用促進を含む医療DXの推進、医師の働き方改を含めた医療従事者の処遇改善のための新たな点数の設定など、これまでとは違った

改定となります。外来部門では、生活習慣病(糖尿病・脂質異常症・高血圧症)の診察料が大きく変わることになり、医学管理料がこれまでの特定疾患療養管理料から生活習慣病管理料へ移行します。今後は糖尿病・脂質異常症・高血圧症で通院中の方は、療養計画書に基づいての治療となります。療養計画書作成のために、診察・問診の際に医師・看護師等から患者様に生活状況の聞き取りや、療養計画作成のための検査等をさせていただきます。また療養計画書へご署名をお願いさせていただきますこととなりますのでご協力をお願いします。療養計画についてご不明な点などありましたら、医師・看護師等へご質問ください。

また、今回の診療報酬改定では、医療従事者の処遇改善のための加算などの算定で、窓口での支払額が増えることも予測されます。より良い医療を行うため医療従事者の処遇改善へのご理解、ご協力をお願い致します。本来は、診療報酬引き上げと患者自己負担軽減はセットで行われなければならぬものです。社会保障の充実が求められます。診療費について、ご不明な点などがありましたら窓口の医事課職員までお尋ねください。(代々木病院医事課長 大崎岳歩)

70歳以上の医科レセプトと現在歯数の調査

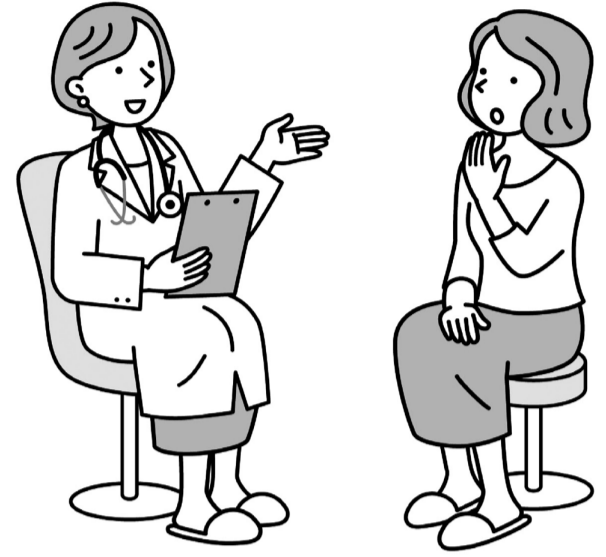


兵庫歯科医師会 2001年

虫歯も歯周病もどちらも悪化する前に治療、若しくは予防することが大切です。どちらにも細菌が原因なので、歯ブラシをすることが重要になります。自覚症状がなくても定期的に歯科受診し、専門的なケアを受け、早期発見・治療することを勧めます。また、歯が多く残っている方が将来かかる医療費が少なくなるという統計も出ていますので、是非予防に力を入れてみてはいかがでしょうか。

また、今回の診療報酬改定では、医療従事者の処遇改善のための加算などの算定で、窓口での支払額が増えることも予測されます。より良い医療を行うため医療従事者の処遇改善へのご理解、ご協力をお願い致します。本来は、診療報酬引き上げと患者自己負担軽減はセットで行われなければならぬものです。社会保障の充実が求められます。診療費について、ご不明な点などがありましたら窓口の医事課職員までお尋ねください。(代々木病院医事課長 大崎岳歩)

また、今回の診療報酬改定では、医療従事者の処遇改善のための加算などの算定で、窓口での支払額が増えることも予測されます。より良い医療を行うため医療従事者の処遇改善へのご理解、ご協力をお願い致します。本来は、診療報酬引き上げと患者自己負担軽減はセットで行われなければならぬものです。社会保障の充実が求められます。診療費について、ご不明な点などがありましたら窓口の医事課職員までお尋ねください。(代々木病院医事課長 大崎岳歩)



歯科受診するときにはどんな時ですか？痛みがある時、歯がぐらついていたり、と様々あると思いますが、自覚症状がある時がほとんどです。自覚症状がなく定期的に受診される方は少ないと思います。

虫歯に関してはある程度進行すると痛みがでるので、歯科受診するかと思えますが、歯の神経をかざるを得ないことがあります。

虫歯も歯周病もどちらも悪化する前に治療、若しくは予防することが大切です。どちらにも細菌が原因なので、歯ブラシをすることが重要になります。自覚症状がなくても定期的に歯科受診し、専門的なケアを受け、早期発見・治療することを勧めます。また、歯が多く残っている方が将来かかる医療費が少なくなるという統計も出ていますので、是非予防に力を入れてみてはいかがでしょうか。

虫歯は細菌が作る酸で歯が溶かされ虫歯になります。歯周病は細菌が原因で歯の周りにある歯茎の腫れと骨が溶けて歯がぐらつく病気です。どちらも原因は細菌です。歯周病に関しては、ある程度進行しても痛みが出ないので虫歯より厄介です。痛みがでるまで進行している場合、歯を抜かざるを得ないことがあります。

取る治療には麻酔が必要で時間がかかり治療回数が増えます。初期の虫歯では治療回数は1回で済みますし、麻酔も必要ないことがあります。

歯周病に関しては、ある程度進行しても痛みが出ないので虫歯より厄介です。痛みがでるまで進行している場合、歯を抜かざるを得ないことがあります。



代々木歯科コーナー 連載

痛み出る前に歯科受診を

その119 歯科医師 柳田健二

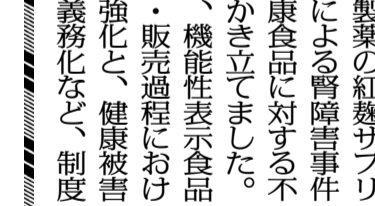
腰痛予防講座を開催



リハビリテーション部による腰痛予防講座・体操の第2弾を5月11日に行いました。今回は、6人の方が受講しました。スタッフは、前回同様、リハビリテーション部の菅谷さんをメイン講師とし、川嶋さん、山田さんの3人で運営しました。腰痛予防講座・体操のテーマは「筋肉の強化」です。前半の講義では、腰痛が普段取っている姿勢と関係があることを学びました。講義の後は、正しい姿勢を保つため筋力強化体操を行い、3人のスタッフが、受講者のみなさんの動きを見ながら必要なアドバイスをしました。

受講者からは「理学療法士の方々が、積極的、快活でとてもよかったです。生きる力が湧いた」「とても楽しく無理なく参加させていただきました。体が少し楽になったようです」「理解しやすい言葉でうれしい」「実際に体操を通して楽しく、体が少し楽になった」「良い勉強になりました」「今日の体操を家で実施したい」などの声が寄せられるなど、今回の講座も大変好評でした。

サプリメントに頼らない生活



小林製薬の紅麹サプリメントによる腎障害事件は、健康食品に対する不信感をかき立てました。政府は、機能性表示食品の製造・販売過程における管理強化と、健康被害報告の義務化など、制度をおきた可能性も否定できません。

脂質異常症(高脂血症)治療薬成分ロバスタチンを生成する紅麹を原料として用いたため、薬の副作用として腎障害がおきた可能性も否定できません。根底にある問題は、健康イメージでサプリメントをたくさん流通させる一方で、安全性確保が後回しになっていることです。

(107) 紅麹サプリメントは医薬品成分を含んでいた

薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)

の在り方について検討を始めています。製造工場でカビ毒が混入したと報道されましたが、原因説明にはまだ時間がかかるでしょう。1989年に米国で、トリプトファン・サプリメントが自己免疫性疾患を引き起こした事件の原因が、不純物ではなく、過剰摂取と利用者の代謝能力差と分かるまで3年7カ月かかりました。脂質異常症(高脂血症)治療薬成分ロバスタチンを生成する紅麹を原料として用いたため、薬の副作用として腎障害がおきた可能性も否定できません。根底にある問題は、健康イメージでサプリメントをたくさん流通させる一方で、安全性確保が後回しになっていることです。

ません。小林製薬は、中央研究所情報として「ロバスタチン(モナコリンK)は、吸収性が低いため、高コレステロール血症に対して処方される場合、服用量を20~80mgと多くする必要があります」のに対し、「紅麹として投与した場合にモナコリンKが少量でもコレステロール低下作用が発揮される」と、製品の特長を発信していました。スタチン系薬剤はそれぞれが腎障害・肝障害をおこします。薬の副作用として腎障害がおきた可能性も否定できません。

